

震災から5年目の月日が経ちました。人々が厳しい環境の下でお互いの絆を大切にしつつ、復興に向けています。地方創生を受けて、大都市も大きく変わろうとしています。駅前再開発や県立美術館のオープン等、新しい大都市が楽しみです。我らの故郷・竹田市も今年、1市3町合併から10周年を迎えました。人口減少の問題や文化会館の建設など開拓ですが、地域活性化に向けて、「総合街づくりセンター」



幹事長 得郎
(昭41年卒)

を設置し、様々な問題への対応と合わせて、行政と民間が一体となって「竹田城下町再生」を目指すことになりました。故郷の皆様が力を合わせて努力している様子を見聞きする事は大変嬉しい事です。

関東同窓会も仲間との絆を深め、先輩から後輩へバトンをつなぐ努力をしていきたい。

同窓会活動並びに 役員会の開催

平成27年2月28日(土)、東京・赤坂の竹田市役所で役員会を開催。役員改選案、収支報告、修学旅行支援のあり方、維持会員の状況、第29回同窓会準備について討議が行われた。

平成27年2月28日(土)、東京・赤坂の竹田市役所で役員会を開催。役員改選案、収支報告、修学旅行支援のあり方、維持会員の状況、第29回同窓会準備について討議が行われた。特

一、平成26年度 決算報告(概算)

春の幹事会協議事項報告



大分県立竹田高等学校
会員会報
第49号

発行者 会長 松良修二
編集者 委員長 田都修士
発行所 関東同窓会事務局
〒245-0016
横浜市泉区和泉町4384-2
電話 045-803-5677

<http://www.gscities.jp/kantohikata/>

竹田高校関東同窓会新役員

平成27年6月改選

役職	氏名	卒業年度
会長	松良 修二	昭和34年
企画担当	加藤 興史	昭和33年
総務担当	麻生 三郎	昭和35年
組織担当	菅 博敏	昭和40年
広報担当	田部 修士	昭和42年
幹事長	井手 得郎	昭和41年
副幹事長	栗田 信子	昭和41年
事務局長	菅 紀代巳	昭和34年
総務委員長	羽田野野耕一	昭和46年
企画委員長	都 優生	昭和44年
組織委員長	志賀 卓史	昭和52年
広報委員長	衛藤 淳	昭和52年
監事	坂本 勇	昭和28年
	後藤 猛士	昭和41年

○:新任

(相談役、顧問を除く)

三、修学旅行支援報告

昨年の12月11日(木)の午前中、品川プリンスホテルで修学旅行で上京の母校の生徒達との「交説会」を開催した。生徒は一生懸命に耳を傾け、とても有意義な時間を共有した。松良会

二、役員改選

左記表の通りの役員改選案が決議された。

に、維持会員は平成27年3月末現在、会員数4,955人(旧制中学20人、女学校8人、新制高校467人)であり、昨年度比較で22人の増加状況である。同窓会活動安定の為にも、さらなる若い世代の維持会員の増加に努めていく。



品川プリンスでの交流会風景

翌、12月12日(金)の研修企
業の訪問先、NHK(渋谷区)、
警視庁本部(千代田区)、不二
家本社(文京区)、集英社ノン
ノ編集部(千代田区)、ソニー・
エクスプローラサイエンス(港
区)、フジテレビ(港区)の各
社に人の先輩達が引率した。
また、引率の先生と訪問した日
本バークリイジングでは、東京
証券取引所見学の後、里見名譽
会長始め竹田出身の幹部社員
との懇談の機会が持たれた。
後日、丁寧な礼状が引率者そ
れぞれに届いた。

五、会員拡充と
組織活性化の検討

平成27年6月20日(土)12時
から東京プリンスホテルのブロ
ビデンスホールでの開催が決定
した。催し物は津軽三味線・太
鼓・尺八での流摩太郎の曲目演
奏を準備している。また、売店
は荒城の月や三笠野・椎茸・カ
ボス豆、ちよろぎ等たくさんの
故郷の商品を用意できるよう計
画をしている。

同窓会では、1860人の会
員に総会・懇親会の案内状を発
送している。今年は、友人、知
人を誘って、たくさんの人々にぜ
んざと活動をしてもらいたい。

六、母校へ寄贈文庫の 概要

ひ参加してもらいたい。ま
た、同窓会活動を活性化させ
るために、維持会員を増やす必
要がある。今後は若手、女子部
の会員拡充に努力していくこ
とを確認。

七、その他

これから進学・就職していく
高校生に対して、良書を贈呈す
ることで、進路を考える一助にし
てもらいたい。

4月に、竹田市久住高原荘で
開催される26回の開催や、28回
開催の話題で盛り上がりがつたり、
個人情報の取り扱い、名簿の作
成等に活発な議論が繰り広げら
れた。会議終了後、懇親会が開
かれ役員及び幹事相互の交流を
はかれた。

四、第29回総会・懇親 会の準備状況

後日、丁寧な礼状が引率者そ
れぞれに届いた。

竹田高校修学旅行特集



▲東京証券取引所のメ
インボード前にて
◀NHK前にて
生徒と井手幹事長
▼(上)日本バーカー
里見名譽会長を囲んで
▼(下)企業訪問



先日は、私たちのために
引率をしていただき、あり
がとうございました。第68
期生156名は、夢の実現に
向けて努力していかたいと
思います。素晴らしい先輩
方が日本のあちこちで応援
していただいている事を忘
れずに、頑張りたいと思
います。

春の幹事会にて 役員と幹事



広報委員長
鷹野淳(昭52年卒)



企画委員長
都俊生(昭44年卒)



秘書委員長
羽田野耕一(昭46年卒)

「先輩方が宮々と書き上げてき
た会報誌『犀牛』の伝統をしつか
りと守っています。若輩で身
の引き継ぎますので、先輩方や
同窓のみなさんのご指導をお願い
申し上げます」

清川村出身(現・豊後大野市)、
清川西小学校、清川中学校卒業。
趣味は剣道。

新役員のご紹介

第29回 竹田高校関東同窓会

総会と懇親会のご案内

▼当番幹事 昭和49年卒、59年卒

日 時

平成27年6月20日(土曜日)
東京都港区芝公園3-3-11

TEL: 03-3432-1111

懇親会

12時5分～15時
(11時から受付)

総会

12時5(8、000円)

「懐かしい」を体感しませんか?

当番幹事・衛藤 寛(昭59年卒)

今年もまた、関東同窓会の季節が来ます。

会場では、歌、食、人、等々様々な「懐かしい」に触れることができます。人との出会いの先には更に思わぬ御縁があるかもしれません。

私が初めて参加した昨年の同

窓会での出来事です。懇親会で

声をかけていただいたい見知らぬ

先輩は、小学3年生時担任の早

川先生の同級生でした。先生が

き経て、覚えていて下さったこ

とに感銘を受けました。私にも

鮮明な記憶があり、懐かしがつ

ていると、なんとその場で携帯

を繋いでいたたま、お話をする

事ができたのです。そしてその

夏、竹田のご自宅を訪ね、お会

いすることができました。

まだ出席されたことがない方

も是非一度ご参加ください。先

輩や後輩と、素敵な出会いがあ

るかもしれません。そんな同級

会ではない同窓会の魅力を私は

感動することができました。初

めてでも心配は要りません。全

40年代になります。昔では新人

というこの上ない安心感があ

るのです。

今年の当番幹事からいよいよ

40年代になります。昔では新人

と言われた世代です。49年卒



毎時15分発 無料シャトルバス運航しています(定員41名)

浜松町駅(浜松町バスターミナル5番のりば)→東京プリンスホテル

ふるさと便り
故郷の同級生より

佐藤 芳郎(昭40年卒)

例年なく寒さが厳しく炬燵守りの毎日が続いています。当方は毎年後悔、自分のために時間とお金を使うことを主に置き、ゆったりとしたんびりと過ごしています。青博敏君早速にあります

機関誌「臥牛」じっくり拝見しました。竹田高校の修学旅行が毎年の様に日本バーカ訪問を続けていると初めて知りました。数年前同窓会で逢った懐かしい顔がありました。姉さんと一緒に珊瑚会世話部の平手様から他の号が届きました。姉さんの記事が載っている号とともに

首君が修学旅行生の珍企業案内記の臥牛も届きました。バーカ訪問記かと思いつきや、引率のドキドキ感いっぱいの話を楽しく読ませていただきました。

バリバリの現役で活躍しているんですね。同窓会の副会長にも名前がありました。が、関東竹田高校会は非常に充実していると聞きました。同期の皆さんに宣しくお伝え下さい。

の先輩方に助けていただきながら、次世代に引き継いでいくためにも幹事一同懸命に準備し、皆様のお越しをお待ちしております。

四十回同窓会でお逢いでできるところを楽しみにしています。くれぐれもお体大切に。

ために幹事一同懸命に準備し、皆様のお越しをお待ちしております。

クラス会・同期会

平成26年度 竹田会総会

田部 修士(昭42年卒)

もりだくさんの竹田会総会



長
会奉
辻(昭32年卒)

平成26年度竹田会総会・懇親会が、11月7日、久しぶりに会場を九段下のグランドパレスホテルに変更して開催された。午後6時、志生野アナウンサーの司会で、会員登録をつとめた。会員登録は、金員が起立し、出席者の黙とうを捧げた。

まず辻会長が「昨年から里見

大先輩の後を受け会員登録をつとめさせていただいている。先月10月末に竹田高校を訪問しましたが、竹田市は皆さん大変元気です。竹田市の健康寿命は、男性77・6歳、女性79・7歳で平均より6・7歳上だそうです。益々の繁栄を祈念します。」

と挨拶をされた。続いて来賓紹介として壇上に上がられた百藤市長は、地元の出来事の紹介をされ、キリンビールとネットでしか

買えないオフホワイトのPRで提携。(会場のテーブルにも百藤市長の御好意で沢山のオフホワイトをご寄付いただきました)アジア都市景観賞を頂戴した。今日の御来賓の青山学院の鳥越先生には、竹田の音のある風景を設計いただき、庵原太郎記念館の紹介冊子も編集いたいた。

*岡城登城バスが実現(2白)併せて文化庁からお風呂敷跡休憩所が許可された。

*アサヒビールと久住の景観整備を。文化庁の後押して税務省より登山バスをいたたく。

*久住のTAO(タオ)が観光庁長官賞をいたいた。コシノジュンコさんの支援を得て東京オリンピック開会式に挑戦。

*長湯が日本名湯百選に選ばれた。盛り沢山の報告があった。

統いて、ゲストの青山学院・鳥越けいこ教授が登壇され、「渋谷にある中川稻荷神社」の講演をされた。「渋谷百軒店の千代田稻荷神社境内の一部に13代藩主・中川久成公所縁の神社があり、今年4階にリニューアルした記念館がある。町内会長

会として壇上に上がられた百藤市長は、地元の出来事の紹介をされ、キリンビールとネットでしか

使っているが、何かやつて欲しい。とのお説きいたいたい。百軒店と中川稻荷神社の話をさせました。竹田市と洪谷が繋がっていた。私も不思議な御縁で竹田との縁を持たせていただいた。以前イギリスのワースワース記念館にいままで休憩所が許可された。

*アサヒビールと久住の景観整備を。文化庁の後押して税務省より登山バスをいたたく。

*久住のTAO(タオ)が観光庁長官賞をいたいた。コシノジュンコさんの支援を得て東京オリンピック開会式に挑戦。

*長湯が日本名湯百選に選ばれた。

統いて、ゲストの青山学院・鳥越けいこ教授が登壇され、「渋谷にある中川稻荷神社」の講演をされた。「渋谷百軒店の千代田稻荷神社境内の一部に13代藩主・中川久成公所縁の神社があり、今年4階にリニューアルした記念館がある。町内会長

会として壇上に上がられた百藤市長は、地元の出来事の紹介をされ、キリンビールとネットでしか



【故郷へのエール感謝します】
首藤市長の熱い挨拶

矩(佐伯印刷)が披露された。統いて、首藤市長からB-S-IIの貢献副社長が紹介された。B-S-IIでは、12月6日に、浦廉太郎と日露のレジンド・庄瀬武夫の番組が放送予定されており、番組紹介と制作の苦労話の報告があった。

最後に、1974年黒川彌姫

NHKでも紹介され実話に基づく山里の年老いたおばあさんと古い山桜を移す「一本の桜の木」、新曲「竹田の春」を力強く披露された。最後に、首藤市長、辻会長始め多くの人が壇上に加わり、全員で「荒城の月」の合唱で盛り上がり閉会となつた。

2次会は、女性陣は地下街のカフェサロンドお茶会、男性陣は各グループに分かれ、夕暮れ迫る八重洲を後に、大東京の舞踏に消えていました。皆さんの元気な後ろ姿に健勝を信じつつ……。

開会式も初めは全て小さかつた。竹田市も大きくなる為には基本的構想が必要と思う。竹田の発展を祈念して乾杯」との発声で懇親会が始まった。

竹田市も大きくなる為には

基本的構想が必要と思う。竹田

の発展を祈念して乾杯」との発声で懇親会が始まった。

竹高関東26会例会を、大東京駅八重洲地下街の銀座ライオンで11月7日開催しました。皆さ

ん後期高齢者など元気にお会場入りを果たし、大東京の地下街を迷ながらも参加予定者全員

が参集してきました。「ここに来る道がワカラんかったな!」

竹高関東26会例会

幹事牛島 健一(昭26年卒)

高松 良雄(昭26年卒)



竹田高校 S42年卒業3年4組 クラス会 in 湯布院

元会議委員長

桑島 雄茂(昭42年卒)

平成27年3月15日、早春の湯布院(山水館)で竹高3年4組のクラス会を開催した。残念ながら担任の坂本謙先生が突然の欠席でありましたが、まずは湯布院の透き通る様な温泉で心と体を癒す所として開宴です。昨年一人のクラスメートが他界し計6人の故者に黙祷し、今回は50年振りに体育の福永幹也先生と3組の大塚健士君に参加いたしました。関東から参加の青柳(丹)一義司君の乾杯であつと言葉間に高校生にタイムスリップ!、坊

竹高42年卒業3年4組
第一行

故郷からのクラス会便り



4月3日 市役所新設棟にて授与式

竹田市東京事務所・新所長

さん(地域おこし協力隊OB・早大院)、顧問間に井手伊郎さん、田部篠士さんを加え、更なる情報発信が期待されます。



里帰りした広瀬中佐の柔道着

第3代所長に白坂重紀さんが就任しました。幼少期を寺町の廣太郎旧宅で過ごして現在は銀座で「稻葉」など4店舗を経営、銀座社交飲食協会で銀座緑化やビル屋上のカボス植樹等を通じ竹田のPRに取り組んでいます。東京事務所は、副所長に伊藤彩子さん、特派員に高橋周平

さん(地域おこし協力隊OB・早大院)、顧問間に井手伊郎さん、田部篠士さんを加え、更なる情報発信が期待されます。

50年振りに体育の福永幹也先生と3組の大塚健士君に参加いたしました。関東から参加の青柳(丹)一義司君の乾杯であつと言葉間に高校生にタイムスリップ!、坊

夜まで話は尽きないまま翌日朝風呂を堪能し解散した。次回は来年3組と5組の共同開催と先生同窓会の提案があり、検討子定です。

平成27年3月15日、早春の湯布院(山水館)で竹高3年4組のクラス会を開催した。残念ながら担任の坂本謙先生が突然の欠席でありましたが、まずは湯

布院の透き通る様な温泉で心と体を癒す所として開宴です。昨年一人のクラスメートが他界し計6人の故者に黙祷し、今回は50年振りに体育の福永幹也先生と3組の大塚健士君に参加いたしました。関東から参加の青柳(丹)一義司君の乾杯であつと言葉間に高校生にタイムスリップ!、坊

海自機械製造修繕供給所(所長・黒木忠弘中佐)は11月17日(月)、横須賀地方総監部庁舎において、廣瀬武夫中佐(1868~1904年)の柔道着を大分県竹田市に貸し出しました。

廣瀬中佐は竹田市出身で、日露戦争第2回旅順陥落塞戦で「福井丸」の指揮官となり戦死した方です。中佐は、1885年海軍兵学校へ入校し、同時期に講道館で柔道を学んだといわれています。

この柔道着は、昭和34年6月27日記念艦「三笠」の所管が大蔵省から防衛庁に移管された際に講道館で柔道を学んだといわれています。

この柔道着は、昭和34年6月27日記念艦「三笠」の所管が大蔵省から防衛庁に移管された

際、と共にその所管が防衛庁に移管された物の一つです。記念艦「三笠」に展示されていたものであり、中佐は海軍勤務当時使用していたものと推測されます。

竹田市では11月24日(月)大分県立竹田高等学校体育館で開催された「廣瀬武夫杯争奪少年柔道大会」において、廣瀬武夫中佐の遺品や写真バーナル等と合わせ、柔道着を展示されました。以後当分の間、竹田市立歴史資料館及び同市内展示施設等で展示される予定です。

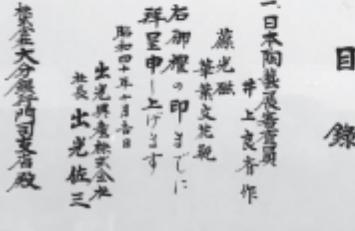


1 佐 横須賀地方総監部長 黒木忠弘
竹田市役所 佐伯治氏、仲介者 海自
OB 里見文之氏

二話 海賊から贈られた壺

「海賊といわれた男」がブームの盛りに大分銀行東京支店の延田支店長から、大分銀行本店には出光佐三さんから送られた壺と目録が保管されている。

と伺いました。是非皆さんに紹介したくて、無理を承知で写真をお願いしましたところメールで送信いただきました。カランで紹介いただきまことに。残念ですがご覧ください。



藤光忠大分銀行内司書記

ふるさと名所紀行

老舗探訪 その1

山本屋種苗店



先祖の訓えを守りながら、 時代に即した事業展開

1593(文禄2)年、酒造業と質屋を営む西吉左衛門が「山本屋」を開業。西吉左衛門さんは生まれたのは1599年であるとか、「竹田町成立以前から居住」と史料にかかれているそうで、城原八幡様にも記録が残っています。西吉左衛門さんは実際何代続いているかも明らかでなく、相当に古い歴史があると思われます。

西吉左衛門の「ふるさと名所紀行」のページを使って、竹田市の古いお店を紹介したいと考えていますが、今回そのトップパッターとして関東同総会の元幹事長・西誠さんにお願いして、実家のお店の由来について投稿いただきましたので紹介します。(昭42卒 田部修士)

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

1593(文禄2)年、酒造業と質屋を営む西吉左衛門が「山本屋」を開業。西吉左衛門さんは生まれたのは1599年であるとか、「竹田町成立以前から居住」と史料にかかれているそうで、城原八幡様にも記録が残っています。西吉左衛門さんは実際何代続いているかも明らかでなく、相当に古い歴史があると思われます。

西吉左衛門の「ふるさと名所紀行」のページを使って、竹田市の古いお店を紹介したいと考えていますが、今回そのトップパッターとして関東同総会の元幹事長・西誠さんにお願いして、実家のお店の由来について投稿いただきましたので紹介します。(昭42卒 田部修士)

西吉左衛門の「ふるさと名所紀行」のページを使って、竹田市の古いお店を紹介したいと考えていますが、今回そのトップパッターとして関東同総会の元幹事長・西誠さんにお願いして、実家のお店の由来について投稿いただきましたので紹介します。(昭42卒 田部修士)

子供の時分に「竹田の街は九州の小京都」と良く聞かされました。竹田の街は、志賀氏が去った(文禄2年、1593年)後、文禄3年に播

州三木から移封された中川公が湿地帯であった今の市街地に施設を施し、玉来町から多くの商家を移して城下町として竹田の街を整備され

ましたが、それ以前から竹田地方に居を構え、県内で最も古い老舗ではないかと目されている商店が、屋号「山本屋」を現在も大事に守っています。山本屋(西家)の中興の祖と言われる西吉左衛門さんが生まれたのは1599年であるとか、「竹田町成立以前から居住」と史料にかかれているそうで、城原八幡様にも記録が残っています。西吉左衛門さんは実際何代続いているかも明らかでなく、相当に古い歴史があると思われます。

西吉左衛門の「ふるさと名所紀行」のページを使って、竹田市の古いお店を紹介したいと考えていますが、今回そのトップパッターとして関東同総会の元幹事長・西誠さんにお願いして、実家のお店の由来について投稿いただきましたので紹介します。(昭42卒 田部修士)

西吉左衛門の「ふるさと名所紀行」のページを使って、竹田市の古いお店を紹介したいと考えていますが、今回そのトップパッターとして関東同総会の元幹事長・西誠さんにお願いして、実家のお店の由来について投稿いただきましたので紹介します。(昭42卒 田部修士)

西吉左衛門の「ふるさと名所紀行」のページを使って、竹田市の古いお店を紹介したいと考えていますが、今回そのトップパッターとして関東同総会の元幹事長・西誠さんにお願いして、実家のお店の由来について投稿いただきましたので紹介します。(昭42卒 田部修士)

西吉左衛門の「ふるさと名所紀行」のページを使って、竹田市の古いお店を紹介したいと考えていますが、今回そのトップパッターとして関東同総会の元幹事長・西誠さんにお願いして、実家のお店の由来について投稿いただきましたので紹介します。(昭42卒 田部修士)

板商店であったが、先代は量販店の進出がはじまる「今のやり方では将来ダメになる」と思って、い種物屋一本に商売を絞った。先代は量販店の弱みを同店の強みにすることを勘案し、植物に専門化することで知識や接客を磨き差別化を図った。先代は「あの決断なしに現在はない」という。また現代も現在、先代は行つてしなかつた営業活動に注力するなど商売の手法を変えて、時代に合わせた事業を展開している。先代の時代は待ちの姿勢でも商売が出来たが、今の時代では成り立たない。現代表

は「現在は利益ばかりを追うではなく、顧客視点でお客様の立場に立つた商売をすることが重要」とい、時間があればお客様の所に出向くなど積極的に営業活動を行い、さらに信頼関係を構築するために農地を借りて自ら作物を育成するなど、お客様との距離を縮めることに注力している。

先祖の訓えを守りながらも、成功体験に固執するのではなく、時代に即した事業を展開し、永続してきた県内最古の長寿企業である。

(昭30卒 西誠)

ウェイクボードで竹田を世界にPR



皆さんウエイクボードはご存じでしょうか?

水上でジャンプの高さや回転技術を競い審判員が採点する競技です。新聞で読んだ方も多いです。新聞で読んだ方が多いのかと思いますが、実は一年前、東京オリンピックの追加競技として落選した経緯があります。

今年7月、直入町の長湯ダム湖に「ケーブルウェイクボーディング」がオープンしますが、竹田市では、改めて日本ウエイクボード協会と連携して追加種目

提案と地方での開催招致を目指しております。

皆さんご存じの「ウェイクボート」は、海上でもセーターと一緒に遊ぶことができる乗り物です。船上で楽しむことができます。日本での番組、内水画では市にオーブンする施設は、ダム湖内に柱を立て、電気モーターで牽引して楽しむことができます。日本での施工の施設となります。

日本ウエイクボーディング協会(薄田会長)が、全国のダムや湖を視察、サイズやロケーションなどを勘案の結果、長湯ダム湖が

企業名	所在地	創業年	業種
山本厚種苗店	竹田市	1593年	農産種子販売業
有藤野屋商店	竹田市	1594年	雷虫用配合飼料販売業・葉脱・養殖・製糞業
杵杵美商店	杵杵美村	1645年	肥料・農業・農業資材販売業
森みよばん湯の里	別府市	1725年	湯の花・北乳石・土資源等製造・温泉業等
合資会社瓦屋呉服店	豊後高田市	1788年	呉服・靴・婦貨販売業
久保酒藏	宇佐市	1789年	焼酎・清酒製造業
南但馬屋老舗	竹田市	1804年	菓子製造販売業・茶房ギャラリー
有天龍園	日田市	1839年	温泉旅館業
ユワキヤ醤油廠	大分市	1854年	醤油・味噌・ドレッシング・醸造加工品製造
フンドーキン醤油廠	臼杵市	1861年	醤油・味噌・ドレッシング・調味料等製造

【大分県の長寿企業】



山本 健二さん

瀧廉太郎と七音音階

NPO日本童謡の会顧問 山本 健二

● 山本健二さんプロフィール
昭和31年早稲田大学法学部卒。

福岡高校在学中に音楽の師・江口先生と出会い、昭和25年師の勧めで福岡城での西日本声楽コンクールに出場。これがその後司馬遠太郎さんとの縁に繋がる等

人生を左右する「荒城の月」との出会いとなつた。

童謡唱歌の普及をライツワークとしてサラリーマン生活の傍ら、長年NPO日本童謡の会の歌唱指導に当たる。幼児・児童の為のミニコンサートを今も続いている。

明治12年「音楽取調掛(東京藝術大学音楽部の前々身)」と「シ」のない五音音階だった。明治12年「音楽取調掛(東京藝術大学音楽部の前々身)」が設立されてから、日本の七音音階は始まった。奇しくもその年、瀧廉太郎が生まれた。

瀧廉太郎の「荒城の月」は今も日本の歌を代表する名曲であり、「花」は合唱曲の嚆矢である。

また、スケールの大さいや「花」は合唱曲の嚆矢である。

「花」は「アーティ」と「シ」のない五音音階で作られている。

司馬遠太郎は「明治」という國家のなかで、「瀧廉太郎は日本

の近代音楽の歴史のなかで最初の作曲家」といふべきで天才と

かと言ひようがない、というの定説のようですが、「瀧廉太郎は、若い代の親光譜や移住任住譜として大いに期待されます。皆さ

る。今日においても、瀧廉太郎を超える作曲家は出ていない。

竹田市商工観光課・森田



▲明治生まれのなじみの唱歌60曲

図書紹介

田部 修士 (昭42卒)

目露で愛された「海のサムライ・広瀬武夫」で皆さんもよくご存じの橋田啓さん(本名・中島啓さん)の新刊が近々に出版される予定です。橋田さんに新刊の概要をご紹介いただきましてので皆さんにお知らせします。

新刊本のご案内と概要

終戦70年にあたり、P.H.P.研究所の特別企画として拙著「ライオン・ハートー外交官杉原千畝」(仮)が今夏発行予定です。杉原千畝についてでは、併じのよに、リトニア領事館の副領事(実質領事)として、ユダヤ難民に日本立ち寄りのビザを発給して、60000人ものユダヤ

人を救つたことから、「日本のシンドラー」とも呼ばれています。

本書の内容は、リトニア(仮)ほか、戰勝国のヨーロッパ各国において領事として廳めぐったその軌跡をたどり、その時代背景として、どうして第二次世界大戦が起きたのか、どうして日本が本草洋戦争に突入し、敗れたのが織つたものです。

今秋、画師美明主導の杉原千畝映画が上映されます(現在ロケ中)。封切り2か月前に本の発行が予定されています。執筆に当たっては、広瀬武夫の研究者である川村泰先生に「絶力いたしました。杉原千畝は、モスクワ商社時代の川村先生の上司であり、専門家による日本初のライジングの人物と想被を

桜田 啓
研究の特別企画として拙著「ライオン・ハートー外交官杉原千畝」(仮)が今夏発行予定です。杉原千畝についてでは、併じのよに、リトニア領事館の副領事(実質領事)として、ユダヤ難民に日本立ち寄りのビザを発給して、60000人ものユダヤ

人の命を救つたことから、「日本のシンドラー」とも呼ばれていました。

本書の内容は、リトニア(仮)ほか、戰勝国のヨーロッパ各国において領事として廳めぐったその軌跡をたどり、その時代背景として、どうして第二次世界大戦が起きたのか、どうして日本が本草洋戦争に突入し、敗れたのが織つたものです。

執筆に当たっては、広瀬武夫の研究者である川村泰先生がこれまでに「絶力いたしました。杉原千畝は、モスクワ商社時代の川村先生の上司であり、専門家による日本初のライジングの人物と想被を

桜田 啓
研究の特別企画として拙著「ライオン・ハートー外交官杉原千畝」(仮)が今夏発行予定です。杉原千畝についてでは、併じのよに、リトニア領事館の副領事(実質領事)として、ユダヤ難民に日本立ち寄りのビザを発給して、60000人ものユダヤ

の命を救つたことから、「日本のシンドラー」とも呼ばれていました。

本書の内容は、リトニア(仮)ほか、戰勝国のヨーロッパ各国において領事として廳めぐったその軌跡をたどり、その時代背景として、どうして第二次世界大戦が起きたのか、どうして日本が本草洋戦争に突入し、敗れたのが織つたものです。

執筆に当たっては、広瀬武夫の研究者である川村泰先生がこれまでに「絶力いたしました。杉原千畝は、モスクワ商社時代の川村先生の上司であり、専門家による日本初のライジングの人物と想被を

している川村秀さんは、戦後川上貿易のモスクワ駐在員として商社勤務をされていましたが、當時の川上貿易・モスクワ代表が杉原さんで、その杉原さんの仲人により、ロシアの女性とご結婚され、お二人の間に生まれたお嬢さんが、ロフタシンガーの故・川村かおりさんです。

川村さんの竹田との縁は、広瀬武夫研究者としてだけではなく、なんとか川村さんがご勤務された川上貿易は、絆あって現在は、創業者が竹田市出身である日本バークライジングの子会社になっています。その縁で秋の竹田会には毎年参加させていただきます。しばらく故郷紀行の紙面で古い順番にお店を紹介したいと思います。

御参考まで、特に古いところでは、山本屋商店(1594年)、藤野屋商店(1594年)、伊達屋(1762年)、但馬屋(1804年)……。その他、創業百年超は、川口自由堂(慶応2年)、あわや(明治22年)、直入町の九長旅館(大正元年)、ちくこや衣料品店、坂本良服店。久住の佐藤酒造は、大正9年創業で94年だそうです。

大友氏顕彰会関東支部が発足しました!

3月7日に大友氏顕彰会の関東支部が立ち上がりました。まだ具体的活動のベースにはなっておりません。また、3月21日には大分駅のリニューアル

竹田市で開催予定です。どうか本会の趣旨にご賛同のうえ、ご入会・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

秋の竹田会のお知らせ

総会&懇親会を11月6日(金)に予定ていますが、会場所が変わります。今年は、選島の東京ガーデンパレスホテルにて6時半からの予定です。御茶ノ水駅から聖橋を渡り徒歩5分です。

●連絡先
〒103-0027 東京都中央区日本橋1-15-1

日本バークライジング
(広報委員長) 田部 修士 宛
TEL: 03-3278-4350

計報

慎んでお知らせ申し上げ、心からご冥福をお祈り致します。

物故者御芳名

大津 慶一様(昭18年卒) 没 平成25年5月

横田キヨ子様(昭16年卒) 没 平成26年7月20日

小野 昌志様(昭15年卒) 没 平成26年6月14日

牧 勝見様(昭16年卒) 没 平成26年7月20日

阿南 二郎様(昭22年卒) 没 平成26年9月15日

渡邊 真一様(昭23年卒) 没 平成26年11月17日

吉良 光代様(昭40年卒) 没 平成26年12月13日

河内 勝一様(昭40年卒) 没 平成26年12月13日

藤井 誠一様(昭40年卒) 没 平成26年12月13日

吉澤 伸一様(昭41年卒) 没 平成26年12月13日

吉澤 伸一様(昭41年卒) 没 平成26年12月13日

吉澤 伸一様(昭41年卒) 没 平成26年12月13日

吉澤 伸一様(昭41年卒) 没 平成26年12月13日

編集後記

